

# 早雲だより

2019.6.20

第146号

歴史グループ早雲

代表 井上一夫

## 第一六一回 歴史ハイキング 報告

### 【改元記念】

### 京都御所とその周辺の史跡散策

令和元年五月二十六日（日）

今回の歴史ハイキングは元号が「平成」から「令和」へと改元された記念に京都御所を含む京都御苑周辺を散策した。

5月としては記録的な暑さの天気予報の中、地下鉄丸太町駅に32名が集まりました。

#### ◎ 旧一条城復元石垣

初めに「旧一条城復元石垣」へ向かった。烏丸通を御所沿いに北上し榎木口から御所へ入ると北側に復元された石垣がある。これは、地下鉄建設の遺跡調査で見えられたもので、室町時代末期、織田信長が將軍足利義昭の為に造営したもので400坪四方の規模

で今も遺構は地下に埋もれている。現地説明の補足で

すが、当時のポルトガルの宣教師のルイス・フロイスの記録によると「信長は多数の石像を倒し、頸に縄をつけて工事に引かした。

都の住人はこれらの偶像を畏敬していたので、そんな彼らに驚嘆と恐怖を生じせしめた」とある。

当日の参加者の中に発掘直後の石垣を地下で見たという方が居られたことをこ報告しておきます。

#### ◎ 閑院宮邸跡

次に近くの「閑院宮邸跡」を見学した。ここで国民公園協会・京都御苑ガイドの鳥居氏から丁寧な解説を頂

戴した。閑院宮家が今上天皇に繋がる系譜、四親王家・五摂関家、縁側の兩戸の軸回し、床みどり、建物の事などユーモアを交えた解説だった。兩戸の軸回しは戸袋が一つ少なくてすみ、建物内から庭を広く見られる工夫。貴族の生活の一端を思い浮かべた。建物を見学してから復元された池のあるお庭を散策した。

閑院宮邸の長屋門から広い空地の御苑の砂利道を公家屋敷が立ち並んでいた事を想像しながら、次に五摂家の九条家跡・鷹司家跡を経由して京都市歴史資料館へ向かった。両家は激動の幕末維新の京都政界で要職を務め歴史に名を刻んだ家柄である。

#### ◎ 京都市歴史資料館

京都市歴史資料館は京都御苑の東の寺町通に面した所にある。テーマ展「京の古今をめぐる」が開催中で、蟄居中の岩倉具視が薩摩藩

の小松帯刀らに示した自筆の政治意見書の「叢中有鳴虫」など貴重な史料が展示されていた。館内は自由見学とした。

資料館の後、井内氏のお楽しみクイズの正解発表と回答者への記念品贈呈を行った。記念品は今回初参加の方に贈呈された。

再び御苑に戻り「清水谷家の椋」へ向かった。ここは幕末「禁門の変」で長州藩士遊撃隊総督だった来島又兵衛が樹齢300年といわれる椋の木付近で討ち死にしたと伝えられている。我々は椋の木陰で西に見える「蛤御門」を見ながら昔日を思った。

この後、中立売休憩所で昼食休憩を取った。

#### ◎ 京都御所

昼食後、13時30分開始の京都御所ガイドツアーに参加した。京都御所へは皇宮警察官の警備する清所門から入り、中で荷物検査

を受け受付札を受け取る。拝観は自由でガイドツアーに参加する者は待合室で待機する。予約なしで案内の時間に合わせればいい。

約1時間の案内で京都御所に天皇がお住まいになられて明治維新に東京へ移られるまでの約500年の歴史や車寄せ・紫宸殿・小御所・お庭など様々なエピソードを交えた案内に耳を傾けた。明治天皇の希望で大正・昭和の天皇が京都で即位されたことなども含め興味深い内容だった。

◎ 猿が辻  
本日の最後の見学場所は、京都御所の北東角の猿が辻へ。ここは御所の鬼門とされ、築地塀の角を欠いて日吉山王社の神のお使いの猿を祀っている。いたずら好きな猿は今、金網に封じ込められている。幕末に尊王攘夷派の姉小路公知が暗殺された「猿が辻の変」もここら辺りであった。

皆様のご協力をいただき天気予報以上の猛暑の中、令和時代の初めての歴史ハイキングは無事終了致しました。

お疲れ様でした。ありがとうございました。スタッフ一同感謝！感謝！（文責 井上一夫）

## 【 一口感想 】

H・Mさん

京都御所には何度も来ていますが、京都御苑に知らない場所が沢山あるのに驚かされました。良い体験が出来感謝いたします。

T・Mさん

今日は楽しい1日大変ありがとうございました。本当にお世話になりました。京都市民にとって、身近な「御所」でも今まで限られた日程での一般公開、多数でソロソロと内部を見学したことしか記憶にない私にとって今回丁寧な解説付きで貴重な文化遺産としての御所を見学でき、改めて幕末明治の歴史の転換を担った御所の役割を再認識しました。

M・Sさん

初めて参加させていただきました京都御苑の中を詳しく説明していただき充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございます。又機会があれば是非楽しみに次回も参加したいです。

さらに今の天皇の役割を考え直す良い機会になりました。

M・Mさん

若い頃は京都に住み、なにげなく通り道として使っていた京都御苑でした。閑院宮邸の内部を見せていただき、説明をつかかって改めて京都は歴史と共に、というより歴史を生み出しながらある街だと思いました。そして、こんなに大勢の方と一緒に過ごせるとは！お世話をして下さった幹事様方に感謝でいっぱいです。

H・Mさん

またも、異常気象？また5月なのに連日の猛暑は本日も続くとの予報。

井上会長の企画で、令和

改元にふさわしい京都御所周辺の散策ということもあり、久しぶりに30名(32)を越す参加人数で、新天皇の即位と令和改元の盛

り上がりの雲囲いのまだ冷めやらぬ気分だったので、今回訪れた時とはそれとなく違った感じで回った様な気がした。

閑院宮跡での京都御所の歴史や四親王家や五摂家の成り立ち等々、また、床みどりの素晴らしさなど丁寧な説明を受けて感激。

また、京都御所の紫宸殿の前半分がなぜ朱色なのかの説明にも納得。東京遷都後のさびれたままの広大な御苑を哀れみ明治天皇のご沙汰により、保存・整備され国民公園として機能して愛されていることに感心。



紫宸殿（H・Mさん撮影）

# 竹生島見下ろす山頂初夏の風

久克

久しぶりの降雨、気温が低下しほっといたしております。

さて、26日は大変お世話になり誠に有難うございました。いざさか高気温でしたが好天に恵まれ何よりでした。

既に感想メモに書きましたが、これまで観梅、観桜、閑院宮邸跡収納展示館を訪ねたのは初めてですし、猿が辻についての故事についても知りませんでした。また京都市歴史資料館にも行ったことがありませんでした。このような次第で今回の歴史ハイキングは良い経験になりました。

ところで、5月23日に伊吹山(1,377M)登山をいたしました。往復所要

時間7時間を越し「25,993歩」結構大変でしたが山頂からの展望は近江一の高峰だけあって素晴らしく遠く御獄山・白山等望むことができました。その翌日は義兄夫妻と

長浜で会合し「長浜城」「国友鉄砲の里」等を巡りました。続いて25日は京都にて「高島屋」「京都文化博物館」「イノダコーヒー本店」等を

訪ねました。これらの後の歴史ハイキングでしたので、いざさか足が重かったのですが打ち上げも含め楽しい一日になりました。取り急ぎ御礼まで。向書の手くれけれどもご自愛ください。

令和元年5月28日  
井上一夫 様  
H・M  
(礼状を掲載いたしました)



閑院宮邸跡

(H・Mさん撮影)



京都御所御池庭

(H・Mさん撮影)

## ◆井内講座◆

### 京都検定

問3

かしわの(黄鶏)のいわれ?

(解答)

①

柏の葉の色と黄鶏(かしわ)の羽根の色が似ているから

②

柏手(かしわで)を打つ姿が鶏の羽ばたく様子に似ているから。

③

天皇に出す料理の支度をしていた人を膳(かしわで)と呼んだから。

## 編集後記

代表を引き継いで初めての例会でした。

今回は合格点かなと思っています。これも参加した皆さん・スタッフ・丁寧に解説していただいたガイドの方々、豊富な文化資源が合算した結果と思っています。感謝!(K・I)

- 問2 交配したら?
- ① イノブタ×ブタ
  - ② イノブタ×イノシシ
  - ③ イノブタ×イノブタ
- (解答)
- ① ↓イノブタブタ
  - ② ↓イノイノブタ
  - ④ ↓イノイノブタブタ